

SSH通信

vol.47



KKB
教育開発部

発行所
島根県立出雲高等学校
〒693-0001
島根県出雲市今市町 1800
TEL 0853-21-0008
FAX 0853-22-7855
izumokoko@edu.pref.shimane.jp



この夏、本校の3年生全員が課題研究の内容を各地で発表しました。
その様子や、3年生の感想の一部をお届けします！

キッズのためのスーパーサイエンス

7月24, 25日にオープンスクールで中学生に向けてポスター発表しました。発表を聞いている中学生には笑顔が見られ、大好評のうちに終了しました。

〈生徒の感想〉

- ・「話し合いにより意見を深めていく」という実体験をすることができ、他人に対して尊重したり、論理的に思考したりすることができた。
- ・中学生に伝えるのは、同級生や先生方に伝えるのとは違う難しさがあった。わかりやすく発表するだけでなく楽しんでもらうことも大切なので、どうやって楽しんでもらうかを考えるのが特に難しかった。
- ・研究の内容をまったく知らない人にわかりやすく伝えるためには、どこを省略して、どうやって要点を伝えるか、考える力がついた。



山陰探究サミット

7月28日に平田文化館で開催され、山陰のみならず広島県からの参加校もあり、お互いの発表を通じて交流するたいへんよい機会となりました。島根県立大学の先生に発表の審査をしていただき、研究する上で大切なこと等、今後の学びへ向けてのアドバイスをいただきました。

〈生徒の感想〉

- ・2年次までに学んだ多くのことを活かす機会が与えられ、自分のプレゼンテーション能力や発表を練る力がすごく伸ばせた。
- ・班員1人ずつ発表し、互いに意見を出し合ってよいプレゼンテーションをすることができました。
- ・発表を聞く人の立場になることで不足する部分や分かりにくい部分に気づき、自分の未熟さを痛感するとともに成長することができたと感じた。



地域創生に向けた高校生からの提案

7月28日に出雲市役所で開催されました。市役所職員の方にもご参加いただき、意見交換をする中で、自分たちに足りない視点に気づくことができたり、新しい知見を得たりすることができました。

〈生徒の感想〉

- ・私たちが今までに提案したことについて、市役所の方々が新たに行動してくださっていたことがうれしかった。
- ・研究を進めるにあたって、本当にメンバーとの話し合いの必要性を感じました。独断で決めていたら、研究の方向性を見失っていたと思います。
- ・市役所の職員の方からお話をうかがうと、それまでの自分たちになかった別の視点や解決策に出会うことができ、多角的に物事を考えられるようになりました。
- ・5人というメンバーがいたからこそ気づけた視点もあり、仲間と一つの課題に向かって真剣に突きつめる大切さ、また面白さを知ることができた。



島根大学グローバルセッション

7月28日に島根大学で開催しました。2年次の課題研究の内容を英語で発表し、ネイティブの先生と意見交換を行いました。

〈生徒の感想〉

- ・日本で暮らしていると普通のことでも、外国の方にはそれが普通ではないこともあるので、そこが大変でした。
- ・英語にすると分かりにくい内容をどのように翻訳するかを、グループの皆で話し合うことができ、協働する力だけでなく英語力も向上したと感じた。
- ・島根大学で発表をしたり講義を聞いたりして、文化や言語は違っても、笑顔で相手の目を見て大きな声で話すことは共通しているんだと感じました。



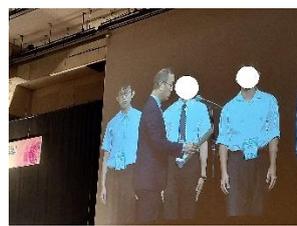
令和7年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

8月6日、7日に神戸国際展示場で開催された令和7年度スーパーサイエンスハイスクール（以下、SSH）生徒研究発表会に3年生理数科の化学①班が参加してきました。全国から238校のSSH指定校等が参加し、6日にすべての班がポスター発表を行いました。ポスター発表の中で審査員による評価の高かった12校が7日に代表として全体で口頭発表を行いました。本校の化学①班は口頭発表には進めませんでしたが、審査員の選出するポスター発表賞（口頭発表に次ぐ12校が選出されました）を受賞することができました。ポスターの作りと聞き手への丁寧な説明が非常に高く評価されました。また、他校の生徒からも以下のような感想をもらいました。

- ・ポスターも見やすく、とても分かりやすい発表でした。
- ・僕たちが分かりやすいようにくさながら丁寧にも教えてくれてとても分かりやすかったです。
- ・鉛蓄電池の起動持続時間が伸びる原因を、仮説を立てて実験し、確かめて考察するという流れがとても分かりやすくまとめられていていい発表だと思いました。

なお、出雲高校は今年でSSH指定13年目になりますが、初受賞になります。

現在、課題研究に取り組んでいる1、2年生も校内の発表会だけでなく、外部の発表会等に積極的に挑戦して刺激を受けてほしいです。



令和7年度中国・四国・九州地区理数科高等学校 課題研究発表大会

8月20、21日に愛媛県西条市総合文化会館で開催された理数科高等学校課題研究発表大会へ参加しました。この大会は、中国・四国・九州地区の理数科で学ぶ生徒が取り組んできた課題研究の成果を発表し、交流するものです。今年度は、数学班が「emirpに関する研究」をポスター発表しました。他校の多くの生徒・先生方が関心をもって熱心に聞き質問していただき、充実した研究発表となりました。また、他校の研究発表から多くの刺激を受け、充実した2日間となりました。

